

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2017.11 >

BULLETIN

2017年7月～2018年6月



国際会長 Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウエー)  
アジア会長 Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)  
東日本区理事 栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)  
関東東部部長 長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)  
クラブ会長 浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫  
副 会 長 西澤 紘一  
書 記 目黒 卓  
書 記 布上征一郎  
会 計 浅見 クミ子  
会 計 佐野 守  
監 事 柿沼 敬喜  
担当主事 松本 竹弘

11月 アドベント(イエス・キリストの系図より)

「サルモンはラハブによってボアズを、ボアズはルツによってオベドを、オベドはエッサイを、エッサイはダビデ王をもうけた。」

(マタイによる福音書1:5)

<遊女ラハブから生まれたボアズからイエスさまが生まれた。ラハブはヨシュア軍のスパイをかくまった。イエスさまの大切な系図にイカガワシ女性3人の名前がある。どういう意味があるのだろうか?>

### 2017年11月 第一例会

### ワイズ理解強調月間

日時:2017年11月15日(水) 18:30~20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館 2階  
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931  
受付:青木君/司会:柿沼君

開会点鐘 浅見会長  
ワイズソング・ワイズの信条 全 員  
聖句・お祈り 古平君  
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長  
食事 (一言添えてニコニコ献金)

ゲストスピーチ 紹介 西澤君  
神崎清一 日本YMCA同盟総主事  
卓話「ユースの話、ブランディングの話等々」

YMCA 情報 松本君  
神田川委員会報告 稲垣君  
Happy Birthday<塩入君・平林君・松本君3名>  
ニコニコ発表 浅見君  
閉会点鐘 浅見会長



YMCAはイエス・キリストの愛をもって青少年の健全な育成を図る事を目的とする団体であり、ワイズはYMCAを理解しYMCA運動を支援するボランティア団体であります。このことが他のボ

ランティア団体と一線を画するところです。たとえば災害支援にしても単に土砂の方付けや清掃ではなく、被災者に精神的に寄り添った活動を心掛け、励まし、未来に勇気と希望を見出せる活動を目指しています。

ワイズメンはあらゆる機会を通じて和を深め、多方面の分野の方々からお話を伺い、自己研鑽して互いに尊敬し、認め合うことが求められます。

私はワイズに関わって40有余年、メンとしても10数年経ちおぼろげながら自信を持てるようになりました。これからもワイズメンとしての誇りを持ち活動を続けていきたいと願っています。

今期の後期は会計を担当することになりました。皆様のご協力をお願いいたします。

(浅見クミ子 記)

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 13/16 81%  
出席:10月5クラブ合同例会 (グリーン出席者 メン 11名 ネット2名 計13名)  
【ニコニコ】 10月合同例会 0円 今期累計 24,000円

＜2017年10月 5クラブ合同例会 報告＞

日時:2017年10月18日(水) 19:00~21:00

場所:東京 YMCA 東陽町センター視聴覚室

グリーンクラブ出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼

古平・佐野・高谷・西澤・西本(東)・西本(晃)

布上(征)・布上(信)・松本 (13名)



関東東部近隣5クラブ(東京江東・東京グリーン・東京北・東京ひがし・東京ベイサイド)の各クラブが合同で例会を持つのは今回が初めての試みである。結論を言えば素晴らしい合同例会であった。企画を立案された方々、分担されたお役目をしっかり果たして本日を迎えた幹事の皆さん、ご苦労様でした。ありがとうございました。

プログラムは相川達男メン(江東)の司会で始まり、開会点鐘を酒向裕司会長(江東)、ワイズソング・信条を峯岸智彦会長(ベイサイド)、会長挨拶は代表した形で浅見隆夫会長(グリーン)、ゲスト紹介を酒向会長、食前の感謝は村杉克己会長(北)、最後の閉会挨拶と点鐘を金丸会長(ひがし)と各会長が平等に担当された。

特別公演がまた素晴らしかった。名古屋大学減災連携センター教授:武村雅之先生による「歴史に学ぶ防災論:関東大震災は生きている」という講演である。

明治以降の被害地震21傑 うち津波は8

表1 明治以降の主な被害地震一覧

No	西暦年月日	地震名	M	Nk	死者数	全潰家屋数	主な被害原因
1	1923.9.1	関東地震	7.9	2.8	105,385	193,387	火災
2	1896.6.15	明治三陸地震	8.5	0.4	21,959	8,891	津波
3	2011.3.11	東日本大震災	9.0	6.8	18,526	126,220	津波
4	1891.10.28	濃尾地震	8.0	12.8	7,273	93,421	震動
5	1995.1.17	兵庫県南部地震(※)	7.3	9.1	5,502	50,000	震動
6	1948.6.28	福井地震	7.1	10.6	3,728	39,342	震動
7	1933.3.3	昭和三陸地震	8.1	1.3	3,008	4,035	津波
8	1927.3.7	北丹後地震	7.3	4.0	2,925	11,608	火災
9	1945.1.13	三河地震	6.8	3.1	2,306	7,221	震動
10	1946.12.21	南海地震	8.0	10.9	1,432	15,640	津波
11	1944.12.7	東南海地震	7.9	16.7	1,223	20,476	津波
12	1943.9.10	鳥取地震	7.2	7.1	1,083	7,736	震動
13	1894.10.22	庄内地震	7.0	8.3	726	6,006	震動
14	1872.3.14	浜田地震	7.1	8.6	552	4,762	震動
15	1925.5.23	北但馬地震	6.8	8.1	428	3,475	震動
16	1930.11.26	北伊豆地震	7.3	8.0	272	2,165	震動
17	1993.7.12	北海道南西沖地震	7.8	2.6	230	601	津波
18	1896.8.31	陸羽地震	7.2	27.7	209	5,792	震動
19	1960.5.23	チリ津波	-	20.4	139	2,830	津波
20	1983.5.26	日本海中部地震	7.7	15.2	104	1,584	津波
21	1914.3.15	秋田仙北地震	7.1	6.8	94	640	震動

※兵庫県南部地震については全潰数100,281は全半潰に相当し、全潰一半潰として真の全潰数を半分に推定

※上表被害原因が震動以外の場合は赤字とする

※武村雅之「地震と防災—揺れへの解明から耐震設計まで」(2008)を元に作成

武村(2008)に加筆

1880⇒(前半)1950(後半)⇒2016

上図は1880年から2016年までの地震被害(津波・火災を含む)での死者数順にみたもの。

いかに今回の東日本大震災の被害が大きいものであったか。歴史を振り返れば、関東大震災の後に佐野利器氏などにより「耐震基準」が成立し1950年には建築基準法制定され日本の耐震建築の礎となった。1981年、2001年と常に基準法を見直してきている。

防災・減災の重要なポイントとしてまずは各自が自ら身を守ることが大原則。近代技術はあくまでも道具であり、神ではない。自然への畏れを覆い隠すものと考えべき。"連携"は我々が人生を全うに生きるために必要。防災・減災はその延長線上に成り立つもの。と熱く語られた。

記念講演の後に各クラブ会長の挨拶になった。そして各種報告、アピール。続いてハッピーバースデーと結婚記念のプレゼント。グリーンは高谷メン、柿沼メネット、古平メネットにバースデープレゼントを進呈した。



グリーンクラブのウイメンとメネット

金丸会長(ひがし)の閉会挨拶と点鐘によって和やかな合同例会を終了した。有志による打ち上げ会はいつもの居酒屋で賑やかに行われたがグリーンは都合により欠席となっている。グリーンは下記をアピールした。(布上 記)



東京グリーンワイズメンズクラブ ~設立45周年記念例会のご案内~

日時 2018年3月21日(祝・水) 受付 12:30~  
第1部 礼拝 13:00~/第2部 記念式・記念講演 13:30~/  
第3部 祝会 15:00~17:00 (予定)

会場 「オーラム / AURUM」 総合宴会場  
台東区東上野 1-26-2 03-5812-1123 www.aurum-ueno.jp

記念講演 小澤 弘 氏 \*国際洋文協会常任理事  
江戸東京博物館名誉研究員/淑徳大学人文学部客員教授

アトラクション 江戸の粋くかつばれ>

会費 5000円/名を承ります

ご参加お申し込み、受付を始めました。  
皆様のお越しをお待ちしております。  
＜別部にご参加頂くお名前を記載の上、出来ればクラブ単位でお申し込み下さい＞  
お問い合わせ:45周年実行委員会(浅見 090-8961-8995) / 柿沼(090-9833-9544)



東京グリーンワイズメンズクラブ 会長 浅見隆夫  
設立45周年記念会実行委員長 柿沼敬喜

～上記、12月に改めて別途ご通知申し上げます～

Happy Birthday  
11月 塩入公之助(メン) 平林 正子(メン)  
松本 竹弘(メン)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい  
(2017-18年度 会計:浅見クミ子)

＜会計担当・口座番号 変更になりました＞  
みずほ銀行 駒込支店 店番号559 (普)1310439  
口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ

＜2017年10月第二例会 報告＞

日時：2017年11月1日 18:00～19:30

場所：和泉橋区民館

出席：青木・浅見（隆）・浅見（ク）・柿沼・高谷  
西澤・布上（征）・布上（信）・目黒・松本

1. 配布資料

役員会レジュメ（浅見会長）

45周年記念例会予算案（柿沼実行委員長）

2. 報告・連絡事項

① 「沖 利柯さん還暦を祝う会」

参加 青木方枝メン

記念品代 浅見クミ子／浅見隆夫

柿沼敬喜／布上征一郎／布上信子

③ 三島クラブ40周年記念例会 12月2日（土）

日本大学国際関係学部（三島市）

参加 浅見クミ子・浅見隆夫

登録費8000円（12月役員会で補填の可否を協議）

④ 11月卓話者

神埼清一 日本YMCA同盟総主事

西澤メン交渉、総主事の快諾をいただいた

⑤ 第二回関東東部評議会

11月18日（土）13:00受付

13:30開会 16:30閉会

終了後、懇親会（参加費 3,000円）

出席：浅見（隆）・浅見（ク）・布上（征）

布上（信）・目黒

東京YMCA 東陽町センター視聴覚室

⑥ ソシアス2017（会員親睦・協議会）

柿沼出席

11月25日（土）10:00～15:00

江東YMCA 幼稚園園庭 参加費1,500円

⑦ その他

11月6日（月）東京YMCAクリスマスオープン

ハウス委員会 青木メン出席

《12月23日（土）東陽町にて／グリーンは甘酒とフランク焼きで奉仕》

3. 審議・協議事項

① 稲垣勝啓メン11月末退会の件

前期分3万より月割額5,000円を返却。

② 45周年記念特別例会＜第2報・12月中頃ま

でに／プログラム時間表検討＞

③ 12月20日（水）クリスマス例会を予定

～クリスマス例会～ 予定

12月20日（水）18:30～21:00

食事会：浅草橋「ふたみ食堂」

会費：4000円

03-4296-2638

今年の2月に開店したばかりのお店です  
鹿兒島料理専門・焼酎60種常時あります

＜お楽しみ・ビンゴなどを予定 皆さん1000円  
程度のプレゼントをご用意ください＞

お店のキャパは20名が限界ですので、  
クラブの皆様内々で食事を楽しみましょう

④ ワイズメネットのつどい開催

11月25日（土）11:00～15:30

横浜中央YMCAで開催

講演「クイリングについて」

講師：クイリングギルドフェロー・小野史郎氏

「絵本献金のためのプチマルシェ」開催

グリーン参加：青木・浅見・布上（主査）

⑤ その他 公民館登録者変更＜稲垣⇒高谷メン＞

千代田区在住者資格

⑥ 18年1月13日（土）在京ワイズ新年会

しのめYMCA ベイサイドクラブ担当

～11/15例会で確実な出欠をとります～

⑦ 18年2月 卓話者

梶木氏・・介護の話 西澤メン交渉

＜第二例会に続いて神田川委員会を開催＞

1. 神田川船の会報告 19:00～神田川委員会

＜この時間より稲垣メン・林繁一さん 出席＞

① 第76回神田川船の会 アンケート集計

（松本主事 配布）

② 稲垣メン退会に伴い、次回2018年5月開催

より目黒実行委員長が推進。稲垣現実行委員

長より目黒メンに引継ぎ進行中

③ 昌平小学校船の会／定年時代船の会開催につ

き詳細説明（稲垣）（布上 記）

\*\*\*\*\*

＜ちよつとボール＞のご紹介



老人ホームなどに寄贈



60×180cmの板の中で、4色のボールをシャモジ形  
のパターでカップインさせるレクリエーションスポーツです。

カップの方を高くして手前に戻って来る仕組みが実用新  
案に登録されました。現在は越谷の施設を中心に喜ばれ  
て活動しています。

ご高齢のご婦人が1球カップインする度に顔にポーッと  
赤みがさす状況や子供がカップインしたボールを弾き出す  
仕組みが面白くて何度も挑戦する有様を見て、私はこのゲ  
ームで社会貢献ができる！と気持ちが高まってきます。

《ちよつとボール協会 会長 古平光市》

# フリテン図書室

## 第40回 『 フォルトナウの瞳 』 百田尚樹



(新潮新書2015年11月)

戦記もの、英雄物語など体制派の作家だと思っていたが、以下2編のような、マイノリティ(少数者・弱者)の視点で書かれた作品は珍しい。

フォルトウナとは、ギリシャ神話に出てくる『人の運命を予測する超能力を持つ女神』の名前である。フォルトウナの瞳を持つ主人公、木山は他人の体の一部が透明化する様子が見えるばかりか、その人の死期も予測できる能力を持つことを偶然に知る。ただし、たとえ自分自身が透明化して行っても見えない。

あるとき同じ超能力を持つ医師に出会う。彼は、木山に『他人の運命には関わらな』と忠告する。なぜなら人の運命を変える事で、自分自身の命を削ることになるからである。木山は、ある女性に恋をしたが、その相手の手がだんだん透明化してゆくことを知って愕然とする。彼女が出くわすであろう未来の運命(列車事故に遭遇?)を察知し、それを無理やり変えてしまう。結果、彼女の命は救われるが代りに木山の命が尽きてしまう。しかも救った相手の女性も同じ超能力を持ち、木山の手がだんだん透明化することが見えていたのである。自己犠牲で他人を救う愛のストーリーに見えるが、超能力を持つことの葛藤、矛盾に耐え兼ねた自殺であったとも言える。カルバンの救済予定説を思い出すが、人間の運命は、偶然の出会いや事件・事故との遭遇の連続で決まるものであり、結果論として『あと1秒遅く来れば交通事故に会わなかっただろう』と運の悪さを嘆くことがあるが、もし私がフォルトウナの瞳を通して他人の運命・宿命が見えたとすれば、果たして生きてゆく事ができるであろうか?

## 第41回 『 プリズム 』 百田尚樹



(幻冬舎、2011年)

解離性同一性障害と言う多重人格を持つ主人公広志と彼に興味を持つ聡子との出会いから別れまでの物語。一人の人間の中に複数の人格が存在すると言う不思議な精神障害がテーマである。誰も建前と本音の2重人格性を持っている

ものだが、広志は12人もの複数個別人格を持っていた。幼少期の家庭内暴力に曝されたことによる虐待の代償行為として、別人格になりすます性癖が高じて多重人格を持たざるを得なくなったのである。精神科医新藤先生の治療により次第に多重人格の一部は消え去り一部は広志に統合されて、最後に卓也、純也、清一、ヒロコ、タケシの5人が残った。卓也は広志の理想の人間像であり、純也は広志の嫌な部分を持つなどそれぞれが広志の性格を分担していた。聡子は卓也と付き合い始め、新藤先生と共に広志の治癒に協力する。聡子と卓也は恋に落ちるが、最後には卓也が純也を共連れに広志に統合されて元の鞆に収まる。後の3人は自然に消えて行き広志は元の人間に戻った。摩訶不思議な話であるが、人間の持つ多様性、多重性の葛藤を凝縮したようで、読後に何となくしこりのようなものが残った。(西澤紘一記)

# YMCA コーナー

## ▼ソシアス 2017(会員親睦・協議会)



イスラエルのドッジボール「ガガ」山中湖センターにて「ソシアス」とはラテン語で「仲間」のこと。「ソシアス 2017」は、

東京YMCAの会員とスタッフが仲間として共に学び、語り、交流する会です。今年は、みんなでバーベキューを楽しむほか、ガガ(イスラエルのドッジボール)のピッチコート作成と体験も予定しています。ぜひご参加ください。

【日時】2017年11月25日(土)10:00~15:00

【参加費】1,500円(昼食・資料代) ※幼児無料

【場所】江東YMCA幼稚園園庭

(東京都江東区石島3-15)

・半蔵門線/都営新宿線:住吉駅 徒歩15分

・半蔵門線/都営大江戸線:清住白河駅 徒歩15分

【申込み】会員部 電話:tel.03-3615-5568

## ▼ハロウィンイベント報告(東陽町)



東京YMCAインターナショナルスクール(TYIS)の生徒たちが仮装して近隣を訪問。保護者や先生もはりきって、ファッションショーやゲーム大会なども行ない、東陽町センターには一日中「ハッピーハロウィーン!」の元気な声が響きわたりました。

また、にほんご学院の生徒もハロウィンイベントにボランティアとして参加しました。会場の準備や、ブースのお手伝いをしました。

にほんご学院の生徒たち  
(会場セッティング中)

(主事 松本竹弘 記)

